

る。又小さな風向板が浮べてあり、風向も同時に読むのである。

特殊観測の分野では Split, Marjan 測候所では空電の四方位成分自動記録器、光電池式視程自動記録器がある。Zagreb, Sljeme 測候所では、宇宙線、紫外線、大気放射等が行われている。Beograd 気象研究所では硝子張り多角形の観測塔が目目に値する。ここでは各種の電気式日射計、大地、天空放射も自記されている。人工放射能は各種の半減週期を持った原素の比率を自動的に分析記録する器械がある。測器工場では温度計の検定を自動的に行っていた。

長期予報は Beograd のみで行なっている。方法はモスクワで発表される気候予想図の Fax と、ドイツで発表されている Baur の気候統計資料を参考にした、相関法である。

地震計はガリチン式が主で、気象台とは別の組織になっている。地震国としては昨夏の Skopie の地震、今春の Zagreb の地震等で有名で日本にも二人程留学している。

#### 7. その他

ユーゴを旅する人々は誰でも其の美しい大自然と、少しも距てをおかない親しい人情とに去り難きを覚えるであろう。風景、服装、人情、発音、何れに於てもドイツから来た者には著るしく日本に似ていることが認められる。然し少し注意すれば、地続きのオーストリアとは又これらの点で非常によく似ていることにも気付くであろう。建築様式は大平原ではウィーンあたりを思わせる

か。アドリア海岸はヴェニスあたりに似ている。話題は第二次大戦中の抵抗運動や世界情勢、それから村のお祭り、お国自慢、観光地の様子等が多い。これは此の国の人々が土地と強く結びついている事を示すものである。元来南スラブ族はカルスト、ステップ地帯の遊牧人種だったのである。非常な話好き、議論好き、座談会好き、人なつこさ、も恐らくここから出ている様に思う。特色のある民謡、音楽や織物、工芸品等はこの民族が極めてすぐれた芸術家であることを示している。東ブロックの常として日本に就ての知識は皆無であり、ドイツ、オーストリーの比ではない、但し此の国独特の注意すべき点も幾つかある。第一は東西ブロックに狭まれた複雑な政情である。第二は六つの連邦は夫々独立国に近い自治体だから日本の県等とは全く違って大きな差があり、非集中化と云う概念があることである。第三は言語の違いが著るしいことである。第一の点では旅館、食堂等うっかりするとひどく高価なものに出逢う点に現われている。第二の点は各気象台が夫々独立した気象庁の如き感じを与えることに表われている。第三の点では、例えば男便所と女便所の表示等が各邦毎に異っている。私の友人の通訳はクロアチヤ以外の国では寧ろ反感と白眼を以て迎えられた、これらの点は充分注意せねばならない。気象技術者の交流はよく行われており、東西両ブロックの世界中の国々と交流を行なっている。これは私自身の経験上大いに羨ましく思った点である。そして私のこの拙文が日ユ両国の友好に何等かの参考となれば幸いである。

## 九州支部だより

### 1964年度九州支部新役員

本年3月末日で支部役員の任期が満了するため、3月末に理事立候補者をつのり、さらに4月20日に理事会推薦候補を決め、4月25日に選挙告示を行ない、6月22日に開票の結果7名の新理事が決定されました。ついで7月14日には理事の互選により支部長常任理事がきまり、さらに幹事が推定され、ようやく新役員が決定されることになりました。新役員名は次のとおり。

支部長 荒川 秀俊 (管区気象台長)

常任理事	青木 滋	一 (管区技術部長)
〃	山田 三郎	(管区調査課長)
理事	坂田 勝茂	(管区観測課長)
〃	武田 京一	(九州大学教授)
〃	山田 国親	(長崎海洋気象台長)
〃	毛利 圭太郎	(鹿児島地方気象台長)
幹事	岡村 存	(管区調査課)
〃	黒木 長二	(管区予報課)